

のり子の
読者ニュース

県会議員
赤旗

2015年8月2日 第183号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



「ホンモノの地方再生」を学ぶ

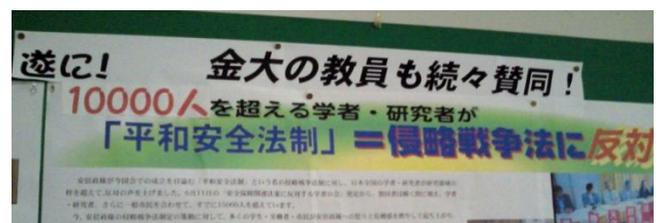
戦後70年、憲法が輝くホンモノの地方自治を学ぶというテーマで、第57回自治体学校が3日間金沢市で開催されました。自治体問題研究所が中心となり全国の研究所以つしよに自治体学校実行委員会がつかられ主催しています。後援は石川県や石川県議会、金沢市などの開催地自治体や新聞社・テレビ局の28団体になっています。

1000人あまりが参加しました。私も久しぶりの参加です。自治体学校は1964年8月に第1回「島特訓道場」として京都大学の島恭彦氏が学校長を務められ、兵庫有馬温泉で参加者数87名から始まったという事です。

いま、第2次安倍政権が地域経済や国民生活を危機に陥れる政策を強引に押し進めている中、それをストップさせるため、ますます、憲法をくらしのなかに活かす地方自治を実践的にさらに強めて行くことが大事だと痛感しました。10分科会と2つの基礎講座、そして現地分科会は3コース用意されていました。ナイター企画もあり、特別講演は金沢大学の里山里海による地域再生のお話でした。全体を通してあらためて「ホンモノの

全体会場です

「平和安全法制」=侵略戦争法に反対
10000人を超える学者・研究者が



こんな大きな「展示」もありました。

終戦記念日の「安倍談話」は期待ゼロ
支持率と「テレビ」視聴率も無残な結果

8月の終戦記念日に首相の談話が出るようです。93年8月慰安婦問題での「河野談話」、95年50周年の「村山談話」は有名です。今年は15日が戦没者追悼式で天皇の「言葉」があり、安倍談話は早くならしいが期待はゼロ。先日、アベ持ち上げの産経新聞が「自民党の『日本の名誉と信頼を回復するための特命委員会』が慰安婦問題をめぐり誤った認識を正すため策定した提言」なるものを1面トップで詳報。委員会の発起人は首相の秘書つ子と言われる稲田朋美政調会長で河野談話は虚偽だとして是正を求める内容です。

安倍首相は支持率急降下で、安保法制に国民の理解が得られずフジ系テレビ局を抱き込み、7月20日午後4時50分から6時20分まで異例の長時間テレビ出演。集団的自衛権を「火事」に例える稚拙さで、系列局あげて協力したが視聴率は関東で5〜6%。地方局から「ただでさえ視聴率に苦勞しているのにいかにげんにせよ」と大ブーイングが…。来年7月は参院選。戦争法案の審議は会期延長でまだ2ヶ月近くあり語れば語るほど反対が広がるチャンスです。改選を迎える自公の参院議員はジレンマを抱えています。戦争法案の結末は予断をもつて言えません。参院選は、「戦後70年談話」や、原発再稼働、沖縄新基地など安倍独裁と決戦の場です。参院比例代表の大門みきさんへ大きなご支援よろしくお願ひします。(編集室)

のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 7月31日 市駅吉宗像前宣伝、会議、宣伝車
- 8月1日 河西診療所夏祭り、戦争展
- 2日 会議
- 3日 議会準備
- 4日 会議
- 5日 会議 まちらば@城北
- 6日 県政報告会、無料生活相談

亡女想敵

戦争法案に賛成という人がまだ2、3割います。その理由としてよくあげられるのが、「北朝鮮や中国のことが心配」ということ。この間、自民党がさかんに宣伝してきた「北朝鮮・中国脅威論」が浸透しているようです。

さらに反対世論を増やし廃案に追い込むにはこの論を打ち破ることが必要です。この間、近畿各地の街頭演説や集会では必ず「北朝鮮・中国脅威論」がいかに根拠のないものか、北朝鮮の国状や日本の経済関係の親密さなどデータをあげてお話ししています。様々な問題もすべて外交努力で解決すべきものです。



党参議院議員
大門みきし

本質ごまかしへ 北朝鮮や中国脅威論で脅す与党



国会で質問する
大門みきしです(右端)

「仮想敵」が「妄想敵」になると珍事件が起こります。2008年9月、高知県・足摺岬沖で国籍不明の潜水艦が領海侵犯したと防衛省が発表しました。軍事アナリスト(当時)の小川和久氏などはテレビで「中国海軍の潜水艦に違いない」と断定しました。しかし一週間後、防衛省はクジラを潜水艦と見誤った公算が大きいと発表を訂正。交信しても返事がないのは当たり前です。

お化けなどいらないのにお化けがいて、お化けごまかし、恐怖のあまり銃をかまえて撃つたら、そこにいたのは人間だった。妄想から戦争が始まることだってあるのです。

(見出しは編集室)